



千葉動力車

戦争法案を廃案に-国会デモうちぬく

-9.23つぶせ新ガイドライン! とめよう戦争法案! 全国総決起集会-

九月二三日東京・代々木公園において、日米新安保ガイドライン締結一周年にあたって「つぶせ新安保ガイドライン! とめよう戦争法案! 全国総決起集会」が反戦共同行動委員会の主催により開かれた。

関連法案国会成立阻止! 「挙国一致」体制づくり許すな

今国会では新ガイドラインの関連法案として「周辺事態法案」、自衛隊法の改悪案、また、ACSA (日米兵たん支援相互協定) の「周辺事態」への適用という有事ACSAへの改悪案が提出されており、北朝鮮の人工衛星発射実験を口実に何が何でも臨時国会で成立させようとしている。

また、北朝鮮に対して各種の制裁措置を次々に乱発し、自衛隊艦船を朝鮮海域に展開させ、なりふりかまわぬ非常臨戦体制を発動している。そして、自民党を先頭に、共産党を含む全野党が北朝鮮弾劾の国会決議に賛成するという、とんでもない「挙国一致」体制が形成されようとしている。

こうしたなか、全国各地から戦争への急速な動きに反対する労働組合・労働者・市民ら三〇五〇人が集まった。冒頭、連帯のあいさつに、在日台湾人元日本兵・林歳徳氏、組対法反対運動から小田原紀雄氏がたった。

新ガイドラインを阻む反基地・空港反対運動

全国の反基地・空港反対運動からは、沖縄でこのたび読谷村議、北中城村議となった知花昌一、宮城盛光両氏が登壇し、選挙への全国からの応援のお礼を述べ、これからは議会の場でもさまざまな問題について追及していくと発言した。名護市議・宮城康博氏のメッセージも読み上げられた。

また、これまで反戦・反基地闘争を闘ってきた各団体が発言。関西新空港に反対する住民運動を代表して永井満氏は「三〇年前に戦争につながるすべてのことに反対していこうと始めたこの運動が現実には真価を発揮する時代となった」と発言、北富士忍草母の会は天野美恵さんが焦点となつている松丸尾死守のため九・二七現地集会への結果を訴えた。三里塚反対同盟からは北原鉦治事務局局長が、平行滑走路建設をめぐる攻防が続くなか二〇〇〇年完成阻止、一〇・十一全国集会への結果を訴えた。基調報告にたった滝口誠事務局長は、日本共産党の裏切りをはじめ総与党化、翼賛化する国会の危機的状況のなか、労働者民衆の決起を国会闘争を突破口につくりだしていこうと、一〇・二一国際反戦デー闘争と十一・八全国労働者総決起集会の成切で新ガイドライン関連法案を廃案におこむことを訴えた。



3050名結集

集会にかけつけた百万人署名運動よびかけ人の西川重則氏は、「歴史の岐路にたつている今、歴史選択の道は勇気をもって決断することだ。百万人署名運動を社会を動かす変革運動の一環として闘おう。約三十八万の署名を九月一六日提出した。一〇・二一を第三次集約とし、日比谷野音での集会に集まろう」とよびかけた。

カンパ・アピールをはさんで闘いの決意が自治体、全通、国鉄、医療の各労働者、議員、反戦自衛官、部落解放同盟全国連全学連などから行なわれた。

一〇、十一月国会闘争に
たちあがろう!

最後にまとめに立った中野洋代表は、「昔だったら宣戦布告と同じ北朝鮮弾劾決議が衆参両院満場一致で上げられている。こういう翼賛体制ができあがっているなか、連合、全労連も『救国』の立場からしかものをいわない。そこには階級対立も何もない。戦前を彷彿とさせる状態だ。しかし一方で、百万人署名運動が青年学生を中心にして広がっていることに展望がある。九八年秋から暮れの闘いにたとう」と訴えた。

デモは、防衛庁前で軍事汚職を弾劾し、国会にむけて意気高く行なわれた。

九月三日付は
訂正・四四四九号で。